

8 生涯学習について

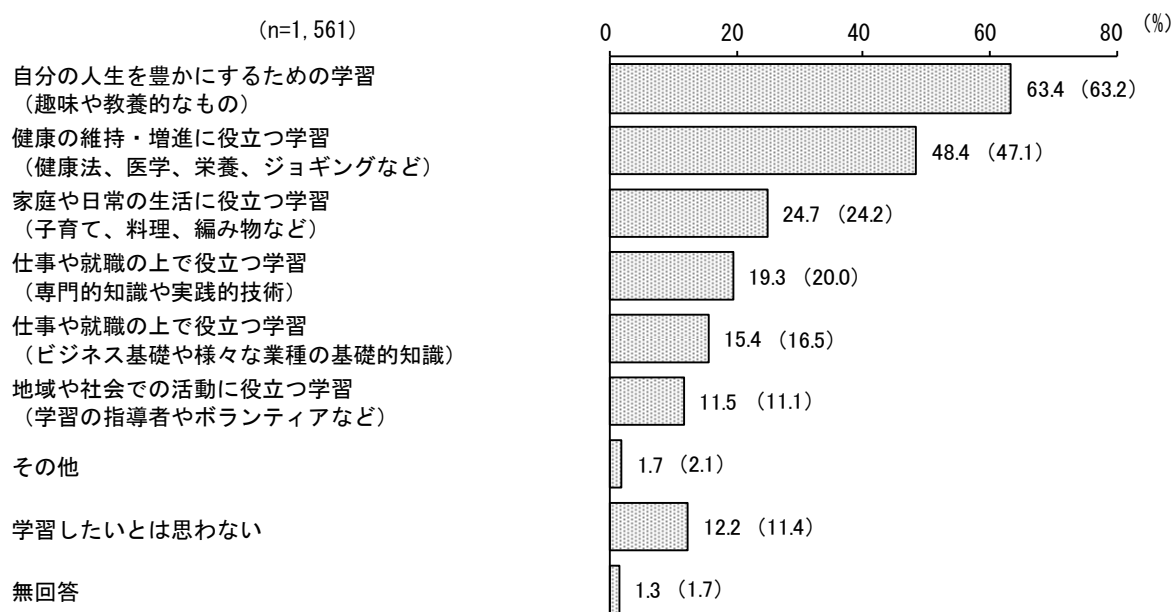
(1) 今後学習したいと思うこと

◇「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」が6割を超える

県では、人生100年時代到来や技術革新など、社会が大きく変化する中、新しい時代に合った生涯学習を推進していくため、今後の施策推進の参考にいたします。

問33 あなたは、今後、学習したいと思うことはありますか。この中からいくつでもあげてください。（〇はいくつでも）

<図表8-1> 今後学習したいと思うこと（複数回答）



注) () の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

今後、学習したいと思うことを聞いたところ、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」(63.4%)が6割を超えて最も高く、以下、「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」(48.4%)、「家庭や日常の生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など）」(24.7%)、「仕事や就職の上で役立つ学習（専門的知識や実践的技術）」(19.3%)が続く。

一方、「学習したいとは思わない」(12.2%)が1割を超えている。(図表8-1)

【地域別】

地域別にみると、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」は“葛南地域”(69.4%)が約7割で高くなっている。(図表8-2)

【性・年代別】

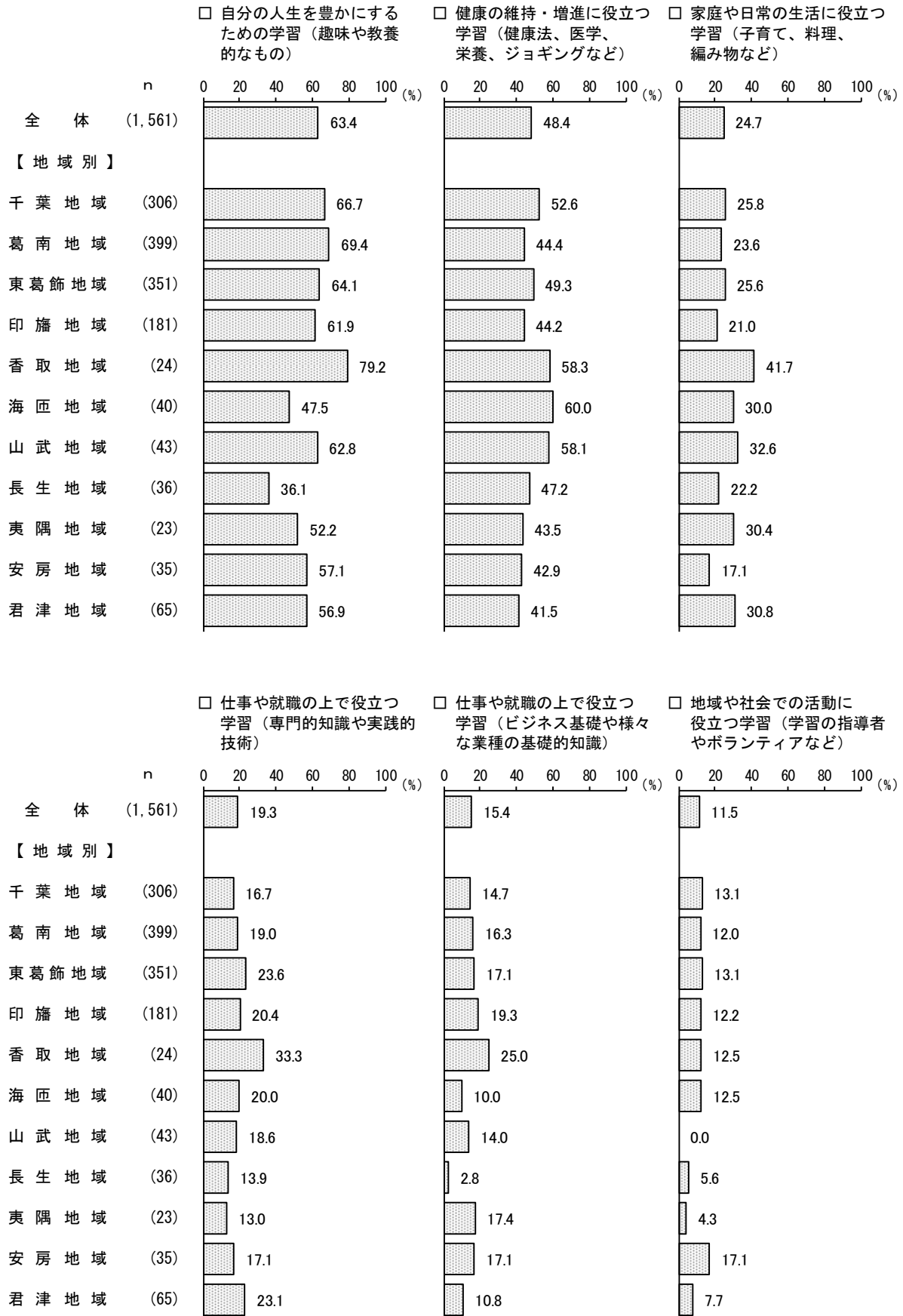
性・年代別にみると、「自分の人生を豊かにするための学習（趣味や教養的なもの）」は女性の60～64歳(77.6%)が約8割、女性の30代(76.7%)が7割台半ば、女性の50代(72.4%)が7割を超え、女性の40代(70.7%)が7割で高くなっている。

「健康の維持・増進に役立つ学習（健康法、医学、栄養、ジョギングなど）」は女性の70～74歳(62.3%)が6割を超え、女性の75歳以上(57.7%)が約6割で高くなっている。

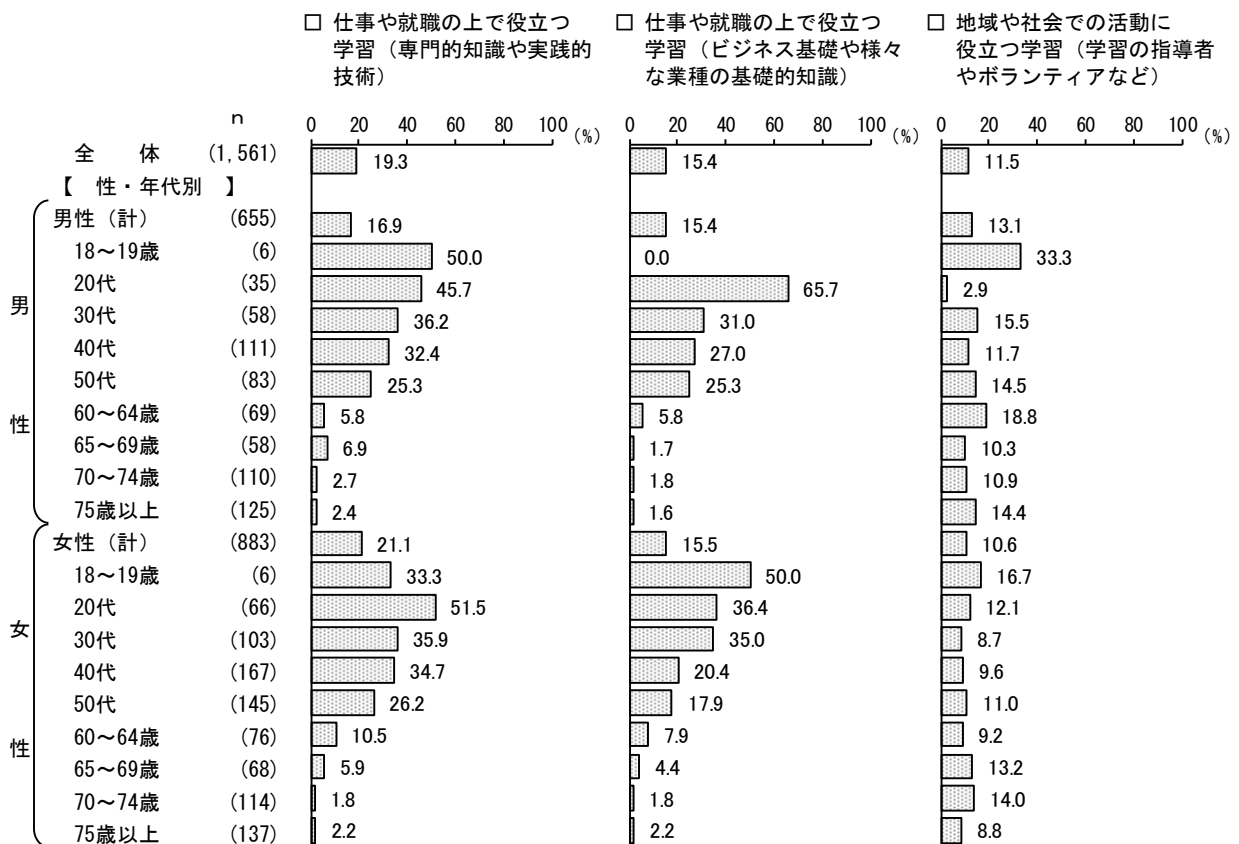
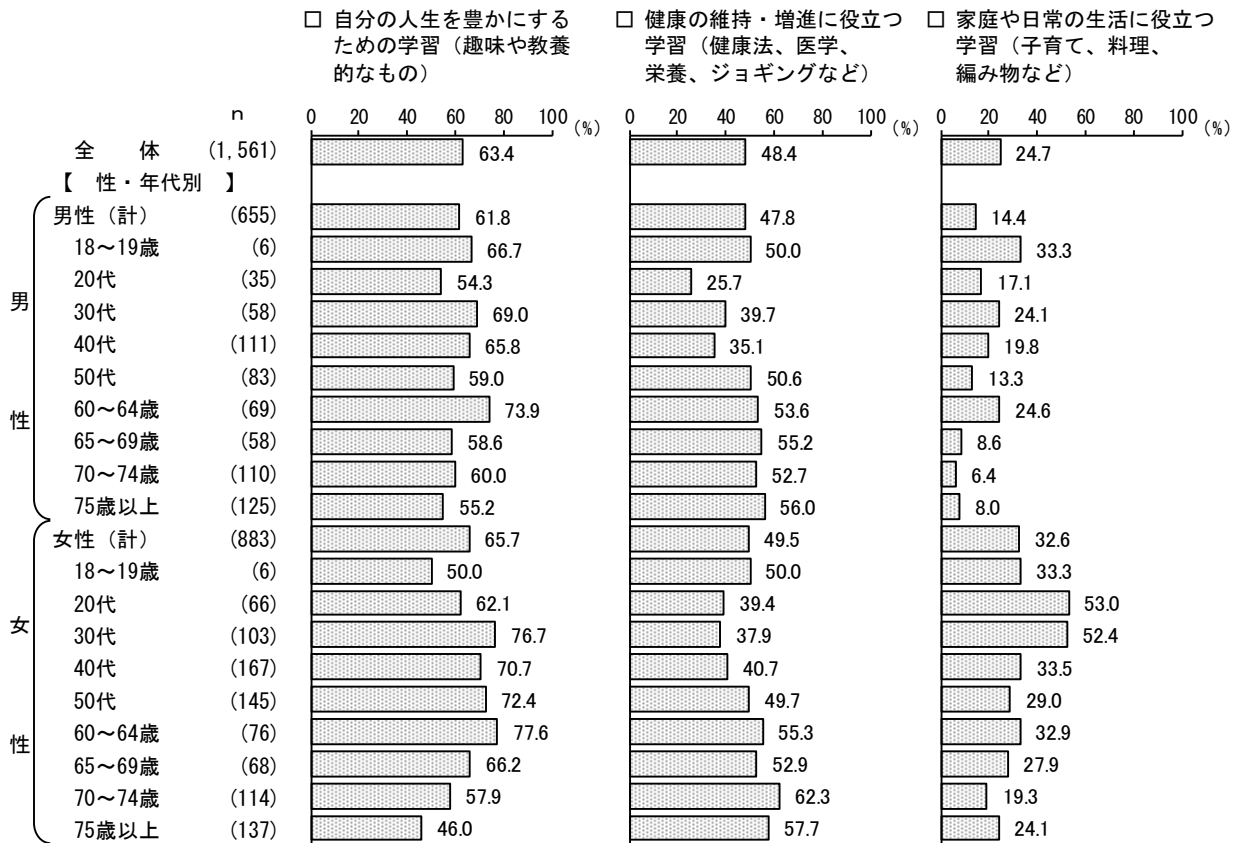
「家庭や日常の生活に役立つ学習（子育て、料理、編み物など）」は女性の20代（53.0%）、女性の30代（52.4%）が5割を超え、女性の40代（33.5%）が3割台半ばで高くなっている。

（図表8－2）

＜図表8－2＞今後学習したいと思うこと（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



第65回県政に関する世論調査（R5年度）



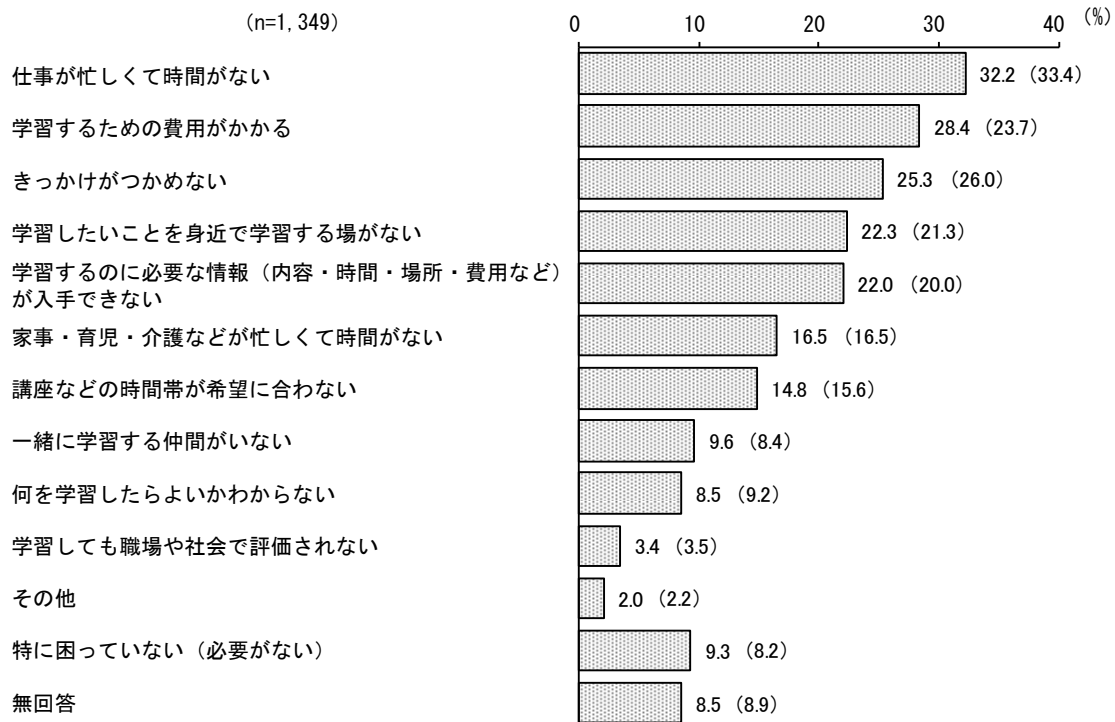
（1－1）学習する上で困っていること

◇「仕事が忙しくて時間がない」が3割を超える

【問33で「学習したいとは思わない」以外を回答した方】

問34 学習する上で困っていることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。（問33で「学習したいとは思わない」と回答した方は、学習したいとは思わない理由をお答えください。）（〇はいくつでも）

＜図表 8－3＞学習する上で困っていること（複数回答）



注) () の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=1,382

「学習したいとは思わない」以外を回答した1,349人に、学習する上で困っていることを聞いたところ、「仕事が忙しくて時間がない」(32.2%)が3割を超えて最も高く、以下、「学習するための費用がかかる」(28.4%)、「きっかけがつかめない」(25.3%)、「学習したいことを身近で学習する場がない」(22.3%)が続く。

一方、「特に困っていない（必要がない）」(9.3%)が約1割となっている。(図表8－3)

【地域別】

地域別にみると、「仕事が忙しくて時間がない」は“東葛飾地域”(40.4%)が4割で高くなっている。

「学習するための費用がかかる」は“山武地域”(44.7%)が4割台半ばで高くなっている。

(図表8－4)

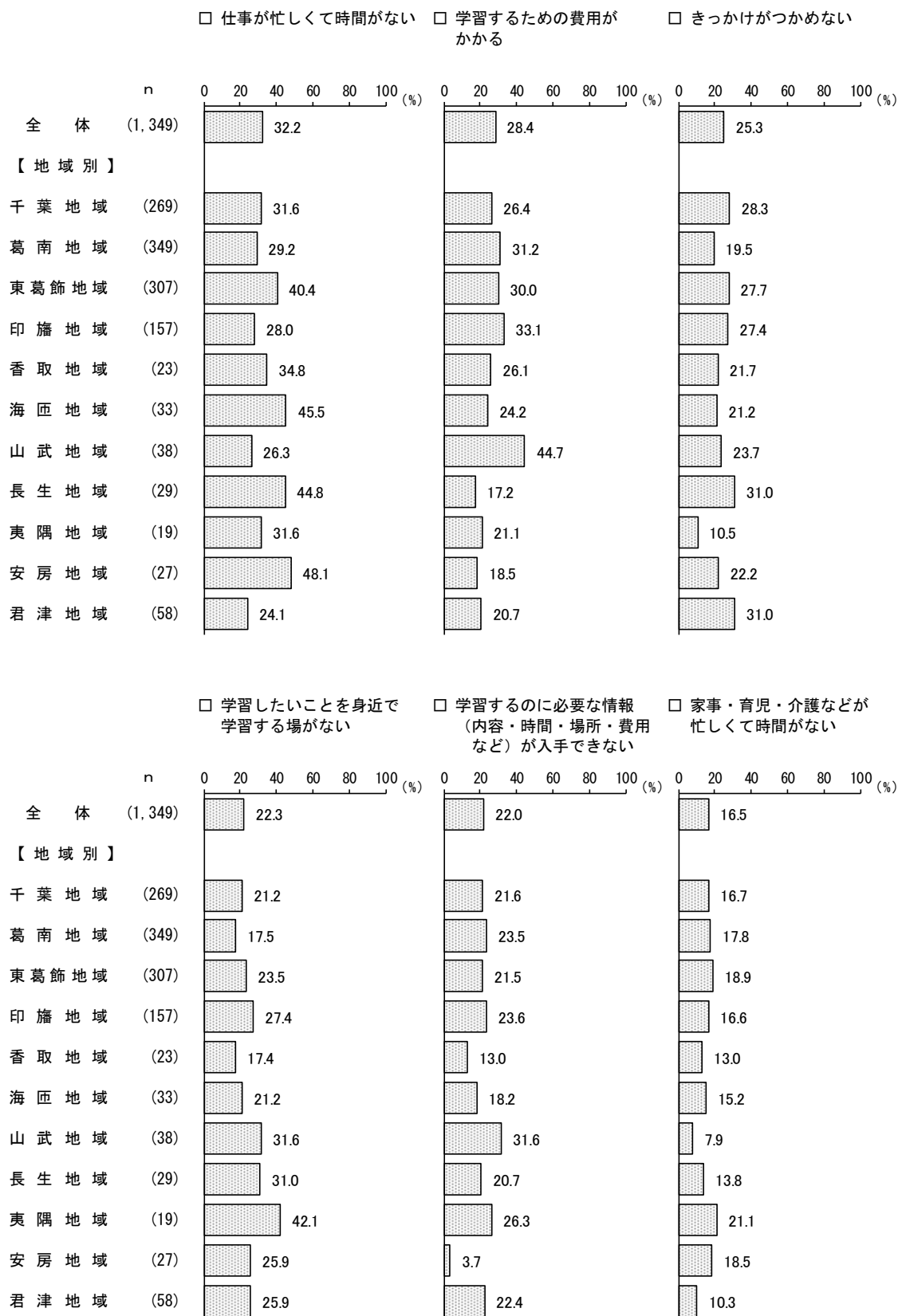
【性・年代別】

性・年代別にみると、「仕事が忙しくて時間がない」は男性の30代(61.1%)が6割を超え、男性

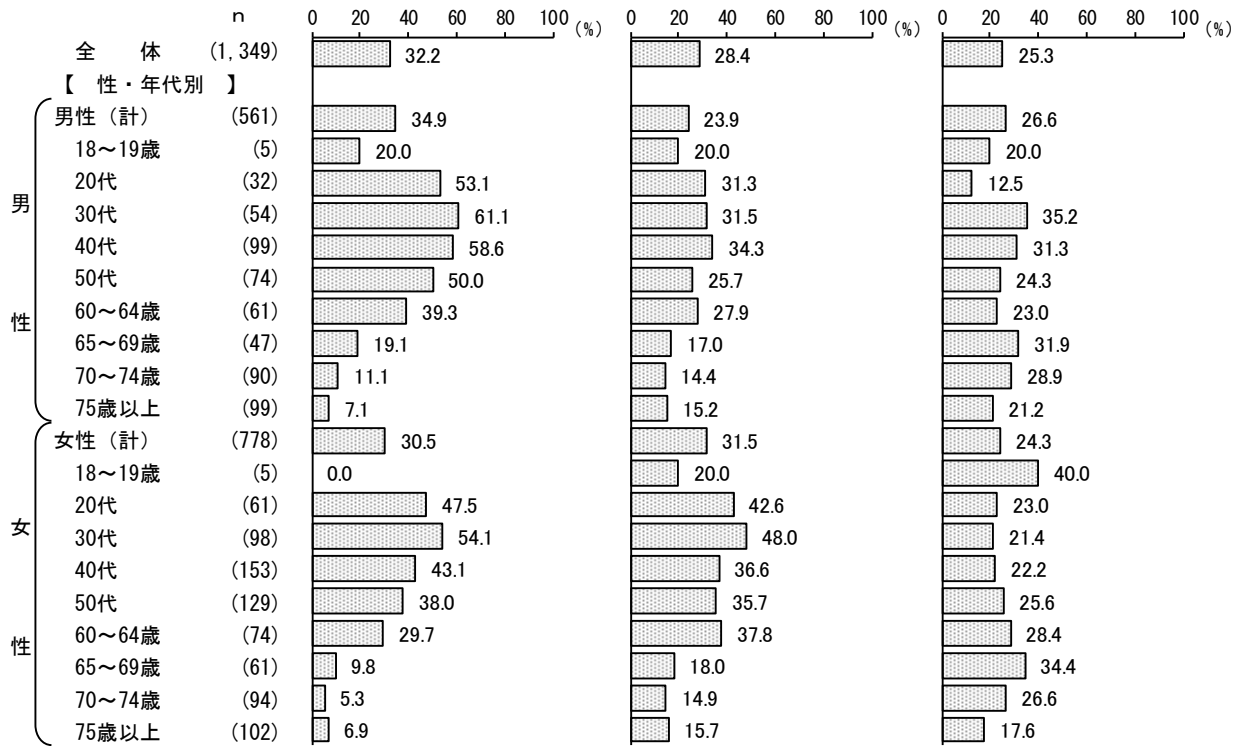
の40代（58.6%）が約6割、女性の30代（54.1%）が5割台半ば、男性の20代（53.1%）が5割を超え、男性の50代（50.0%）が5割、女性の20代（47.5%）が約5割、女性の40代（43.1%）が4割を超えて高くなっている。

「学習するための費用がかかる」は女性の30代（48.0%）が約5割、女性の20代（42.6%）が4割を超え、女性の40代（36.6%）が3割台半ばで高くなっている。（図表8-4）

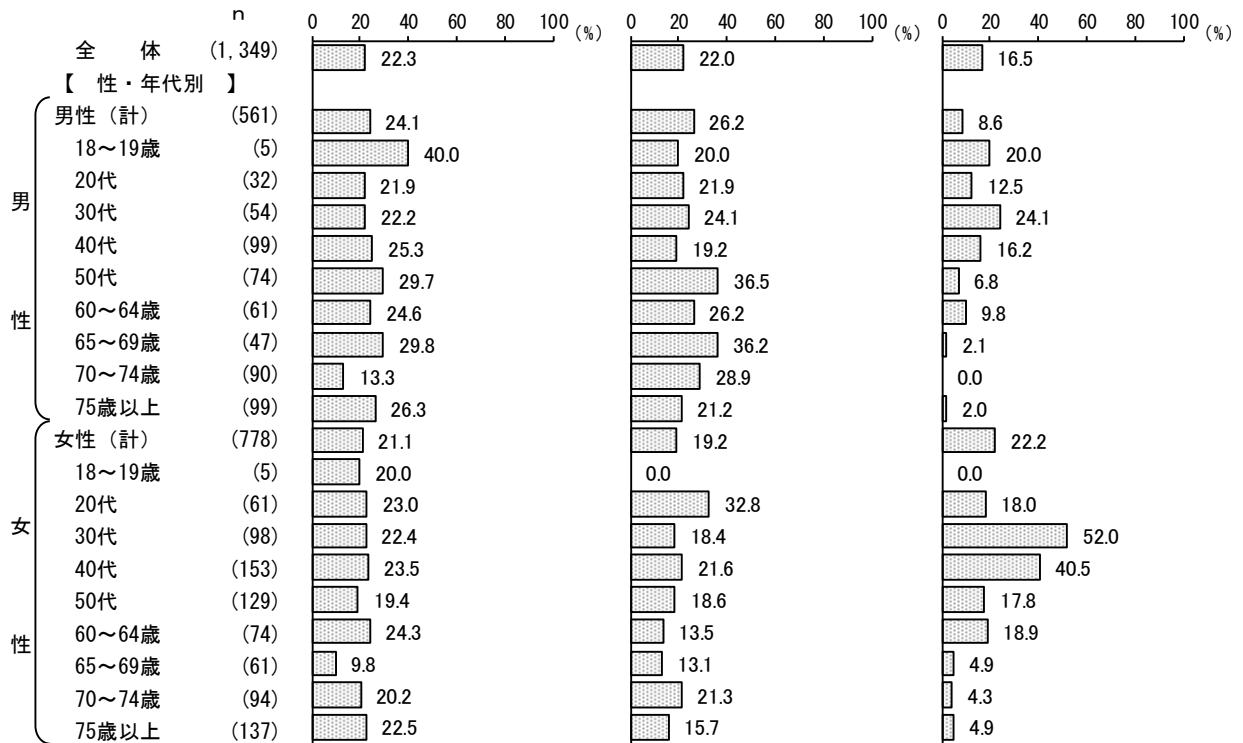
＜図表8-4＞学習する上で困っていること（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



□ 仕事が忙しくて時間がない □ 学習するための費用がかかる □ きっかけがつかめない



□ 学習したいことを身近で学習する場がない □ 学習するのに必要な情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない □ 家事・育児・介護などが忙しくて時間がない



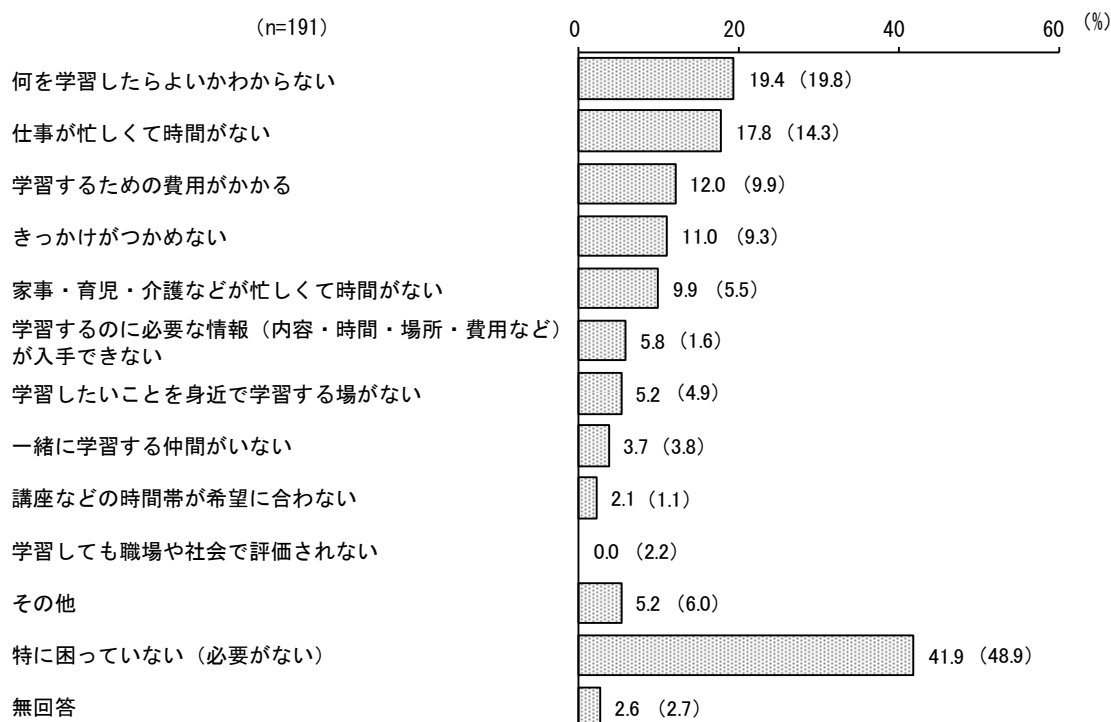
（1－2）学習したいと思わない理由

◇「何を学習したらよいかわからない」が約2割

【問33で「学習したいと思わない」を回答した方】

問34 学習する上で困っていることは何ですか。この中からいくつでもあげてください。（問33で「学習したいと思わない」と回答した方は、学習したいと思わない理由をお答えください。）（〇はいくつでも）

＜図表8－5＞学習したいと思わない理由（複数回答）



注) () の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=182

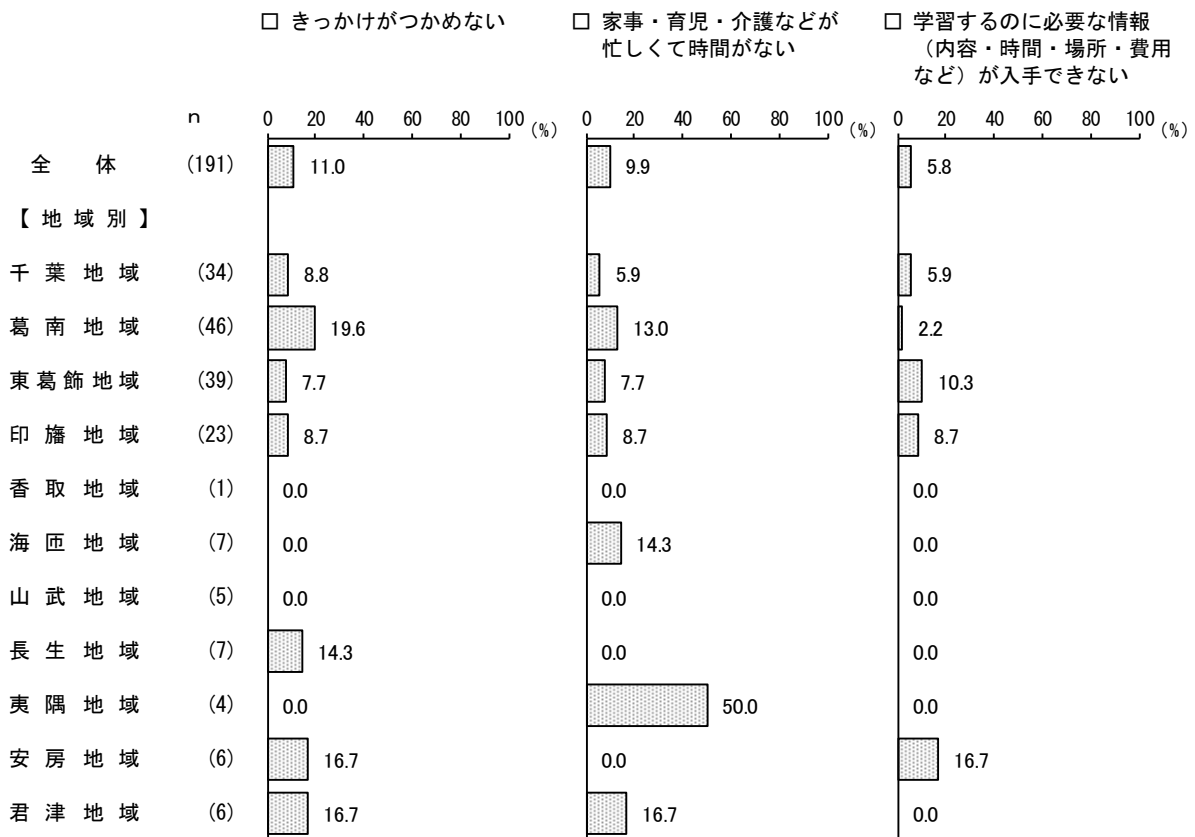
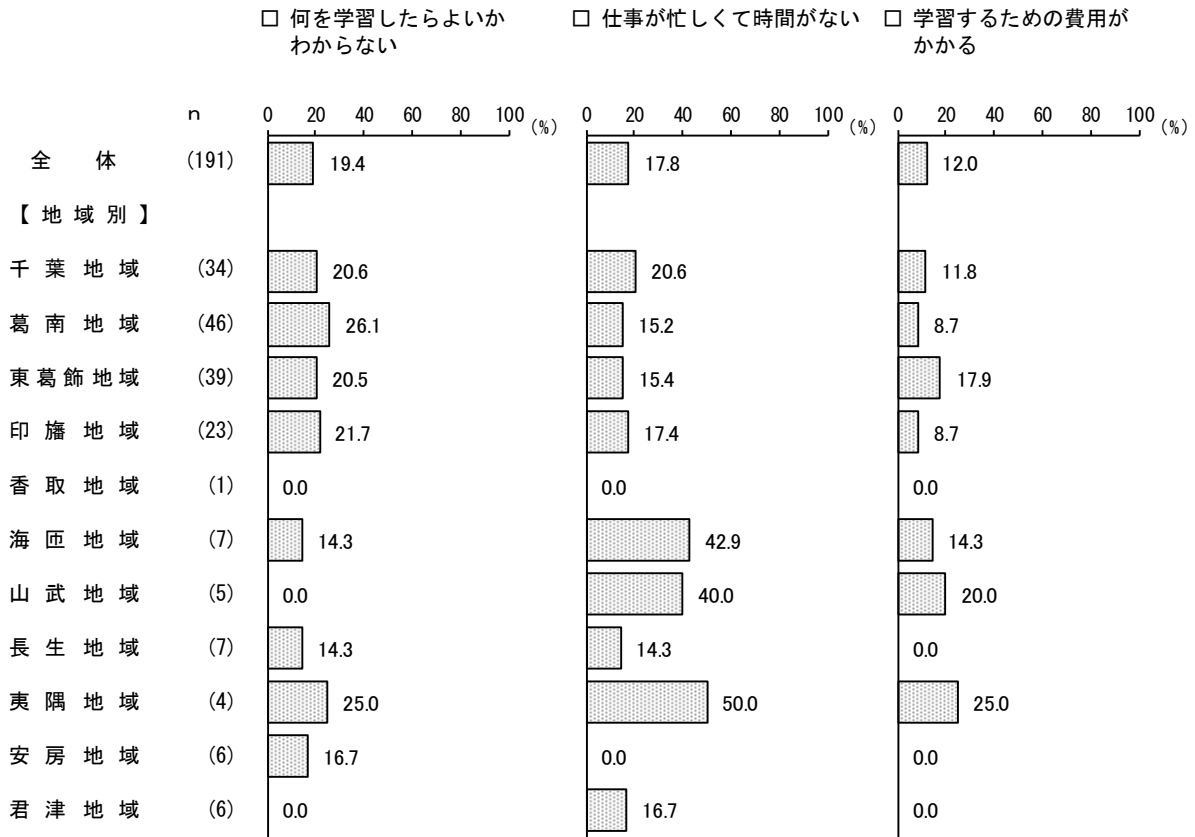
「学習したいと思わない」と回答した191人に、学習したいと思わない理由を聞いたところ、「何を学習したらよいかわからない」(19.4%) が約2割で最も高く、以下、「仕事が忙しくて時間がない」(17.8%)、「学習するための費用がかかる」(12.0%)、「きっかけがつかめない」(11.0%)が続く。

一方、「特に困っていない（必要がない）」(41.9%) が4割を超えている。（図表8－5）

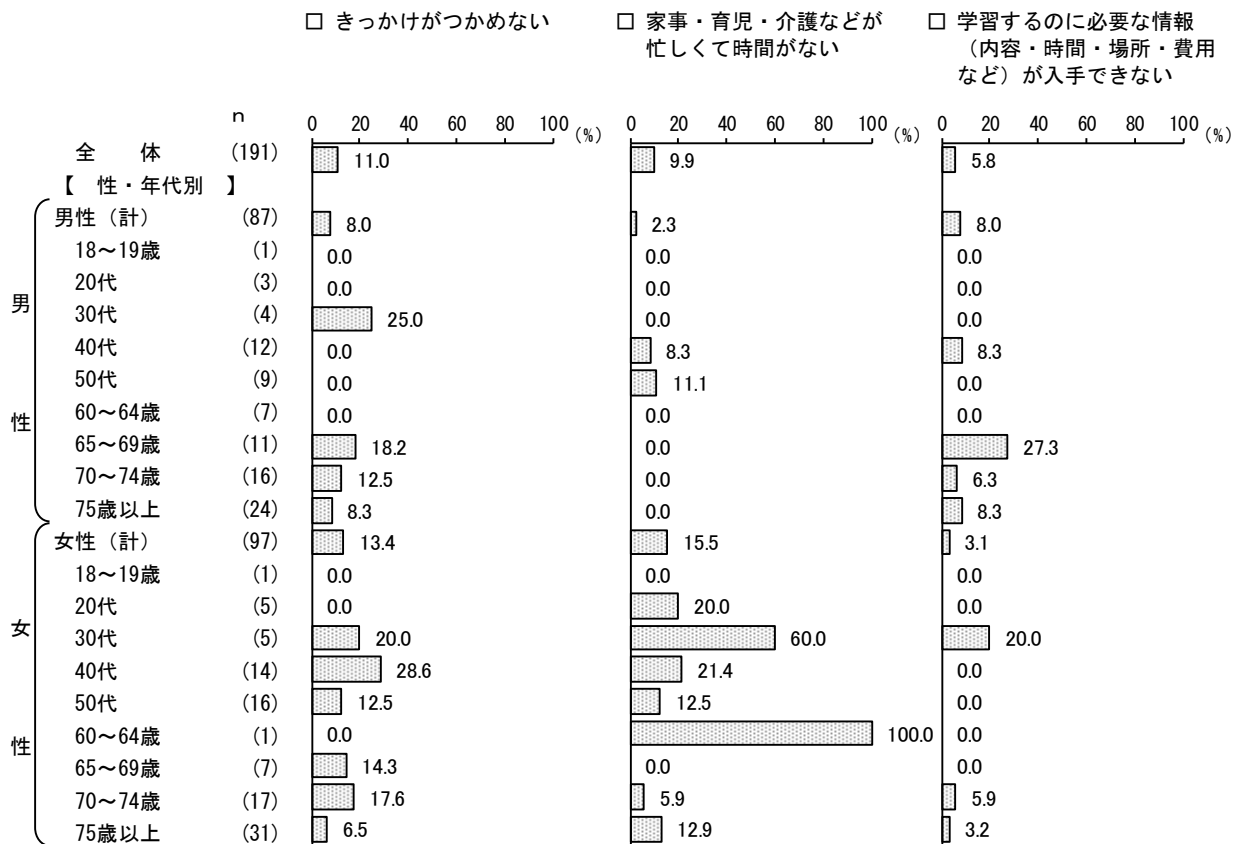
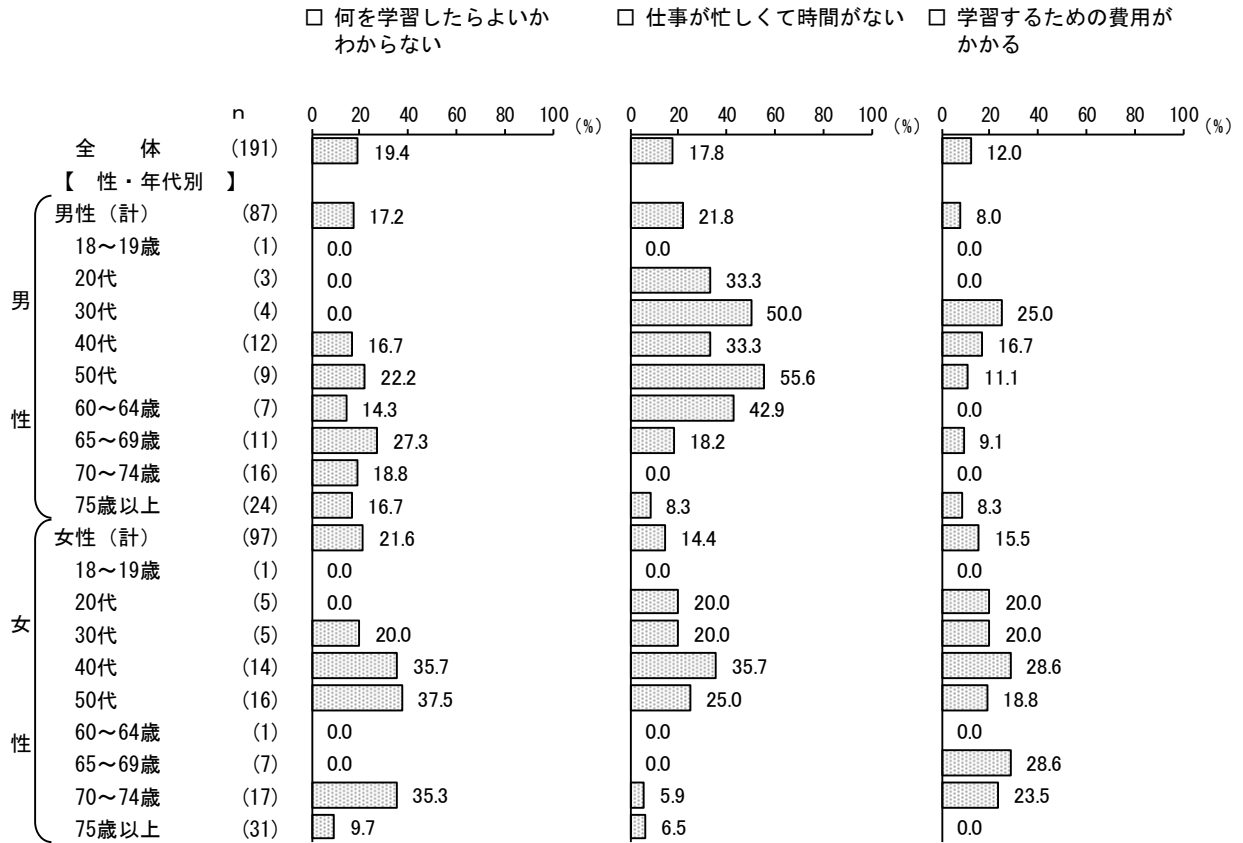
※サンプル数が少ないため、【地域別】、【性・年代別】は参考までに図示するにとどめる。

(8 ページ「報告書の見方(5)」を参照) (図表8－6)

[参考] <図表8-6>学習したいと思わない理由（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）



第65回県政に関する世論調査（R5年度）

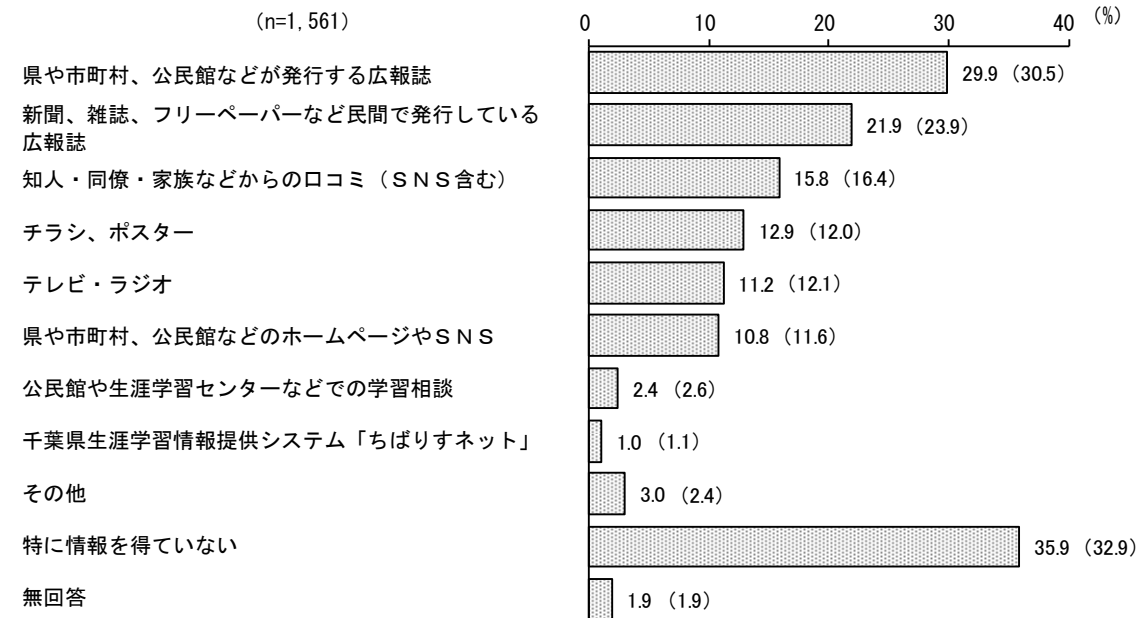


（2）生涯学習の情報を得る手段

◇「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」が約3割

問35 あなたは、生涯学習の情報をどこから得ていますか。この中からいくつでもあげてください。（○はいくつでも）

＜図表8-7＞生涯学習の情報を得る手段（複数回答）



注) () の数字は令和4年度の同様の項目による調査結果 n=1,591

生涯学習の情報を得る手段について聞いたところ、「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」(29.9%)が約3割で最も高く、以下、「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」(21.9%)、「知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む）」(15.8%)、「チラシ、ポスター」(12.9%)が続く。

一方、「特に情報を得ていない」(35.9%)が3割台半ばとなっている。(図表8-7)

【地域別】

地域別にみると、「チラシ、ポスター」は“千葉地域”(16.3%)が1割台半ばで高くなっている。(図表8-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると「県や市町村、公民館などが発行する広報誌」は女性の70～74歳(56.1%)が5割台半ば、女性の65～69歳(47.1%)が約5割、男性の75歳以上(44.0%)が4割台半ば、女性の75歳以上(40.9%)が4割で高くなっている。

「新聞、雑誌、フリーペーパーなど民間で発行している広報誌」は男性の75歳以上(35.2%)が3割台半ば、女性の75歳以上(31.4%)が3割を超えて高くなっている。

「知人・同僚・家族などからの口コミ（SNS含む）」は女性の20代(28.8%)、女性の30代(27.2%)が約3割、女性の75歳以上(25.5%)が2割台半ばで高くなっている。(図表8-8)

<図表8-8>生涯学習の情報を得る手段（複数回答）／地域別、性・年代別（上位6項目）

